

八代教育事務所の分析結果と今後の取組

1、成果及び課題

(1) 成果

○教科の調査結果から

- ・経年比較（R4→R5）を見てみると、小学校の国語と算数において、昨年度より向上しています。

○質問紙調査の結果から

- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問事項において、肯定率が中学校では、全国平均より1.9ポイント上回っています。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」の質問事項において、肯定率が小学校では、全国平均より2.1ポイント上回っています。

(2) 課題

○教科の調査結果から

- ・小学校・中学校ともにすべての教科において、正答率が全国平均を下回っています。特に、中学校の数学と英語では、大きく下回っている状況にあります。

○質問紙調査の結果から

- ・「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問事項において、肯定率が小学校では-7.1ポイント、中学校では-8.0ポイントと全国平均を下回っています。
- ・「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問事項において、肯定率が小学校では、-9.5ポイント、中学校では-15.0ポイントと全国平均を下回っています。
- ・「授業の内容はよく分かりますか」の質問事項において、中学校に課題が見られ、肯定率が国語では-9.0ポイント、数学では-10.4ポイント、英語では-9.4ポイントと全国平均を下回っています。

八代教育事務所の分析結果と今後の取組

2、今後の重点取組

○本調査結果等により明らかになった課題を踏まえ、以下について各学校の特色ある取組の一層の推進を図り、管理職は進捗状況の確認と必要な指導を確実に行う

(1) 子供を学びの主体とする学習活動の充実

- ・子供の「なぜ?」「やってみたい!」という学ぶ意欲を喚起する課題設定・導入の工夫を行う
- ・子供が必要性を感じペア学習やグループ学習に取り組めるように、話合いの目的、成果を明確にするとともに、話合いの状況を共有できるようにする
- ・自分の考えを発表する際には、考えの根拠となる部分を示したり、要約したり、比較したりしながら、工夫して発表させることを意識する

(2) 子供が真に「わかる」「できる」まで関わる定着確認の徹底

- ・授業や単元の中で、子供が学習内容を理解しているかをみとる場面を確実に設け、「わかる」「できる」まで一人一人に応じた関わりを行うなど、見取りを適切に指導へ生かす
- ・授業に関連した内容の家庭学習を設定し、出した課題については確実に見取り、成果や課題を具体的に評価することで、学ぶ喜びを実感させる